

# 平成 26 年度 学校自己評価システムシート ( 県立進修館高等学校 )

目指す学校像	明るく活力にあふれ、「進徳修業」の精神に満ちた人間を育成する、地域が誇りに思える学校。
--------	---

重点目標	1 生徒一人一人の学力の向上と進学・就職実績の向上 2 規律ある態度と豊かな心の育成及びエコでクリーンな学校づくり 3 学校情報の積極的な発信と地域の活力を結集した学校づくり
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	5名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		実 施 日		
年 度	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒一人一人の学力を伸ばすため、個に合った適切な指導を推進する必要がある。また、生徒自ら主体的に学習する力「学習力」を高めるため、各教科及び分掌等で具体的な対策を継続する必要がある。</li> <li>○基礎学力の定着と大学進学を目指す応用力、また高度な専門的能力の向上を目指し、授業改善と補習の充実を図る必要がある。</li> <li>○多様な進路の実態を踏まえ、3年間を見通した計画的な進路指導を実施する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基礎学力の向上と欠点保有者の減少に向けた教科・分掌の取組</li> <li>②中上位層の学力向上補習と進学補習の実施</li> <li>③学力向上に向けた授業研究の実施</li> <li>④個に応じた履修計画の決定支援</li> <li>⑤生徒の進路希望を実現するきめ細かな進路指導の実施</li> <li>⑥校外教育機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各教科による基礎学力向上と欠点保有者減少のための補習指導の実施</li> <li>・各教科における学習指導と評価の工夫改善</li> <li>・基礎学力テスト及び実力テストの実施</li> <li>②教科による朝及び放課後の組織的な補習等の実施</li> <li>③教科内研修の充実と、各教科による授業研究の実施</li> <li>④各教科の系列等に関する計画的な履修指導の実施</li> <li>⑤キャリアガイダンス及びインターンシップの充実</li> <li>・外部講師による進路講演会の実施</li> <li>⑥予備校等の外部講師による研修会等の実施及び研修会参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①転退学者数が20%以上減少したか</li> <li>・欠点保有者が各学期10%以上減少したか</li> <li>②成績優良者が前年比10%以上増加したか</li> <li>・専門資格取得表彰者数が10%以上増加したか</li> <li>③授業研修会等を2回以上実施したか</li> <li>④履修ガイダンスに生徒の80%以上が満足したか</li> <li>⑤四大合格率100%、就職内定率100%になったか</li> <li>・講演会を各学年1回以上実施できたか</li> <li>⑥外部教育機関を活用した研修会を1回以上実施し、教育活動に還元できたか</li> <li>・研修会に参加したか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①転退学者35%減少。</li> <li>・欠点保有者27%増加(1,2学期比)。</li> <li>②成績優良者、昨年比7%増。</li> <li>・専門資格取得表彰者数が2.3倍</li> <li>③教科内授業研修会は、英語、数学、地歴科で実施。</li> <li>④履修ガイダンスに生徒の86%が満足。</li> <li>⑤四大合格率81%、就職内定率96%、インターンシップで63社と連携継続。</li> <li>・進路講演会は各学年1回以上実施。</li> <li>⑥ベネッセによる教員研修会を校内で2回実施。</li> <li>・予備校等が行う指導法研修に参加した先生が約3倍(のべ28人参加)。授業の工夫改善に役立っている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の授業態度改善のための指導体制の確立。基礎力定着指導を数学科以外にも拡大。</li> <li>・進路指導部の組織力強化により進学実績の向上と進路第一希望の達成。</li> <li>・協調学習の手法等に係る研修会を実施し、教科ごとに授業改善に着手。</li> <li>・学科ごとにインターンシップの必要性等を再検討して適切に実施。</li> <li>・進路指導等に有効な外部リソースの取捨選択と積極的な活用推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補習に力を注ぎ、個に応じた学習指導が必要である。現在の補習指導の取組がしっかりできている。教員の意欲が感じられる。</li> <li>・つまずきのある生徒や成績不振者への指導に力を注いでいる様子がよくわかる。</li> <li>・進学補習では、進学希望の生徒全員を参加させてはどうか。</li> <li>・生徒の進路実現を最優先課題として進路指導体制の充実を図ることは重要である。是非、積極的に進め結果を出して欲しい。</li> <li>・工業や商業を中心に、専門資格の取得に力を注ぎ、結果を出している。教員のきめ細かな指導がうかがえる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶や時間を守るなどの基本的な生活習慣の徹底や規範意識の向上を図るため、積極的な生徒指導をさらに推進する必要がある。</li> <li>○多様な生徒に対応する、生徒理解・生徒支援体制を充実させる必要がある。</li> <li>○部活動の活性化を通して学校の特色化を図る必要がある。</li> <li>○学校行事の工夫・改善を通して生徒の豊かな心を育み、社会で活躍できるようにしたい人材を育成する必要がある。</li> <li>○エコ活動と校内美化に積極的に取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①組織的・重点的な生徒指導の推進</li> <li>②生徒支援体制の連携・活用</li> <li>③部活動加入率の向上と高い目標を持たせる指導</li> <li>④学校生活に張りを持たせ、豊かな心を育む学校行事の実施</li> <li>⑤エコ活動と環境美化への積極的な取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒指導部と学年との連携を強化し、組織的・重点的な生徒指導の実施</li> <li>・全教員による登下校指導及び昼の巡回指導の実施</li> <li>・挨拶の励行と身だしなみ指導の徹底</li> <li>・全教員によるチャイム・トゥ・チャイムの徹底</li> <li>・いじめ防止とその的確な対応</li> <li>②外部機関との連携による生徒・保護者への教育相談、カウンセリングの実施</li> <li>③部活動の目標の明確化と目標達成のための日々の取組</li> <li>④生徒会活動の活性化とその支援</li> <li>⑤清掃活動の指導強化</li> <li>・ゴミの減量と分別の徹底</li> <li>・月1回の大掃除の実施</li> <li>・こまめな消灯や節水の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指導案件が10%以上減少したか</li> <li>・遅刻者が10%以上減少したか</li> <li>・生徒アンケートで学校指導評価が80%以上満足したか</li> <li>・授業の開始・終了時間が厳守できたか</li> <li>・いじめの防止、いじめ行為の対応が迅速、的確にできたか</li> <li>②総合教育センター等の外部機関と連携したか</li> <li>③部活動の加入率が増加したか</li> <li>・部活動の実績及び活動目標が達成できたか</li> <li>④生徒会活動が盛り上がり、活気が出るよう支援できたか</li> <li>⑤大掃除や毎日の清掃、こまめな消灯・節水を実施できたか</li> <li>・年間電気使用量の5%削減を実現できたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒指導案件は10%減少。</li> <li>・学校指導評価に対する満足度78%。</li> <li>・「授業心得」の活用によりチャイム・トゥ・チャイムが全校の合言葉に。</li> <li>・いじめ等に対し迅速、的確に対応。</li> <li>②特別支援教育課と埼玉純真短大との連携による職員研修会実施。巡回支援相談10回、20人の教員が受講。</li> <li>③加入率71.6%で昨年比7.5ポイント増。全国出場2(優勝1)、関東出場3</li> <li>④生徒会が学校説明会受付等担当。役員と校長との対談を2回実施。</li> <li>⑤月1回の大掃除を実施。保健管理部による重点清掃箇所の設定。省エネ期間を新規設定し全校で実施。</li> <li>・事務室の呼び掛けで電気使用量の対前年度比5%削減を達成。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の主体性を引き出す生徒指導へのシフトチェンジ。</li> <li>・生徒の基本的な生活習慣等を徹底するための学年や担任・副担任の組織的指導力の向上。</li> <li>・文化部の活性化推進。女子生徒の部活動加入率アップ。</li> <li>・学校行事における生徒会の役割強化。</li> <li>・校内省エネ運動の頻度をアップ。生徒主導によるキャンペーン等の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の生徒の様子が以前に比べて非常によくなった。</li> <li>・PTAの登校指導が定着。保護者の声に生徒が応えている。朝の挨拶ができることは重要である。</li> <li>・遅刻者数の更なる減を目指して、生徒達が時間の管理をできるようにするとすばらしい。</li> <li>・授業を参観し、生徒がしっかり学ぼうとする姿勢が感じとれた。</li> <li>・生徒会役員が中心となって、充実した高校生活を実現するための取組をして欲しい。</li> <li>・体育祭や文化祭など学校行事が充実してきた。生徒が懸命に取り組む姿を見ると応援したくなる。</li> <li>・学校の美化活動に一定の成果が認められる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特色ある学校情報の発信を推進する必要がある。</li> <li>○高校進学の指導を充実させるため、中学校等との情報交換など連携をさらに深める必要がある。</li> <li>○地域との連携を強化し、地域と学校が相互に支援する体制を築く必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①あらゆるメディアを通じた学校情報の積極的な発信</li> <li>②小・中学生及び保護者に対する本校の理解度の向上</li> <li>③連携教育やスポーツ・芸術の交流を通して施設開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校案内、HP、進修館通信一斉配信メールの充実・活用</li> <li>②学校説明会、部活動体験、授業公開の充実</li> <li>③学校自己評価アンケートの実施と活用</li> <li>・部活動や学習指導に関する小中学校、大学等との連携事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報発信の充実・拡大ができたか</li> <li>②学校説明会及び授業公開の参加者が20%以上増加したか</li> <li>③学校評議員会や学校評価懇話会の意見を教育活動に反映したか</li> <li>・小中学校、大学等と継続的な連携を行ったか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①HPの掲載件数を昨年比2.1倍増。学校通信を行田市内全家庭に回覧(10月以降3回)。東行田駅構内等3箇所に学校PR看板設置。</li> <li>②学校説明会の参加者14%増。授業公開の参加者が4%増加。</li> <li>③評議員会等の意見を反映させた教育計画を策定。小中学校と部活動交流を4団体が実施(15回)。小中学校へ出前授業2回実施。埼玉純真短大と高大連携協定を締結。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすい公式HPで閲覧数増を目指し全面更改。</li> <li>・効果的な広報のため、中学校訪問と学校説明会の実施方法の見直し。</li> <li>・地域の教育機関との連携強化。</li> <li>・創立百周年記念式典(10月31日)の成功のための準備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と積極的に関わろうと取り組む姿勢に好感が持てる。今後も続けていってほしい。</li> <li>・百周年記念式典に期待している。</li> <li>・公式ホームページが素晴らしい。毎日新しい記事が掲載されるので楽しみである。</li> <li>・地域の中学校として連携し、共に切磋琢磨していくことが重要。</li> <li>・高大連携や地域の人材を活用した取組ができている。今後、さらに進めて欲しい。</li> </ul>